



平成25年3月期 年次報告書

自 平成24年4月 1 日
至 平成25年3月31日

アトミクス株式会社

株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

平成25年6月

代表取締役社長 小林 和幸

目 次

- 株主の皆様へ … 1頁
- 営業の概況
次期の見通し … 2頁
- 事業の概要 …… 3頁
- 連結決算報告(要約) … 5頁
- 決算報告(要約) … 7頁
- 株式情報 …… 9頁
- 会社概要 …… 10頁

営業の概況

当連結会計年度のわが国経済は、東日本大震災の復興需要によって緩やかな景気回復に支えられていたものの、長期化した円高により先行きが不透明な状態が続いてきました。しかし、政権交代後、経済対策や金融政策への期待から円安、株高が進行し、本格的な景気回復の兆しが見え始めてきました。このような状況の中、当社グループは新製品の開発及び上市、販売網の拡充、既存製品のモデルチェンジ等に努め、市場の拡大を図り、製品の安定供給及び原材料価格の高騰に対応すべく処方改良、製造原価の低減、物流改善に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は売上高109億93百万円（前連結会計年度比4.5%増）、営業利益3億93百万円（同14.4%増）、経常利益4億31百万円（同25.2%増）、当期純利益2億27百万円（同63.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

塗料販売事業では、東日本大震災の復興需要を背景に、道路用塗料は東北地方を中心に出荷量を伸ばすことができました。また、低迷が続いていました西日本地区においても第4四半期に入って若干の回復の兆しが見え始めています。建築用塗料及び床用塗料については、業界関連の展示会等に出席を行い拡販に努め、建築用塗料においては遮熱用塗料、床用塗料においては機能性塗料を中心に若干出荷量を伸ばすことができました。家庭用塗料については、政権交代以降、個人の消費動向は回復傾向にあります。11月から12月の天候不順の影響を受け

て出荷量は前年を下回りました。

この結果、当連結会計年度の塗料販売事業の売上高は前年同期に比べて5億80百万円増加し、101億64百万円（前連結会計年度比6.1%増）となりました。

施工事業では、前期末の仕掛工事の完成と床塗装工事の受注増加により順調に推移してきましたが、当第3四半期から第4四半期において、予定していた工事受注を変更して笹子トンネルの復旧工事に緊急対応したため売上高が減少しました。この結果、当連結会計年度の施工事業の売上高は前年同期に比べて1億2百万円減少し、8億29百万円（前連結会計年度比11.0%減）となりました。

次期の見通し

新政権による経済対策における公共投資の増加や、円安効果による企業の設備投資の増加への期待に加えて、消費税率引き上げ前の年度末における駆け込み需要も予想されますが、実態経済回復の動きや個人消費の動向は鈍く、円安による原材料の高騰が懸念され利益面では厳しい状況を予想しています。

このような状況の下、当社グループは第10次3ヶ年計画の最終年となります第67期において、より一層、新製品開発スピードの向上、独自市場・独自流通の開拓や在庫削減・原価低減を図り、収益向上に努めてまいります。

これらにより平成26年3月期の連結業績は、売上高117億円、営業利益2億40百万円、経常利益2億44百万円、当期純利益1億27百万円を見込んでいます。

事業の概要

1. 事業の基本理念と分野

当社グループは、塗料・コーティング材・道路の安全標示の領域において「独創に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することで「安全で快適な住環境・屋外環境」を実現し、生活者との信頼関係を築くことを基本理念としています。

具体的には、交通安全分野では道路用塗料とその施工機械に、建築用分野では床用・屋根用・防水用塗料に、家庭用分野では家庭用塗料とホームケア商品に絞り込み、それぞれの分野でナンバーワン・オンリーワンとなる製品とサービスを提供することを目指しています。また、工業用分野では無機有機ハイブリッド樹脂を用いた機能性ハードコート材により新たなニーズの開拓に取り組んでいます。

1) 交通安全分野

「交通安全」「道路とその周辺環境の美化」をコンセプトに、センターラインや横断歩道などの路面標示材や景観材、交通安全施設管理システムなど、生活者に安全で快適な交通環境を創造する製品を提供することで社会に貢献します。



道路の歩車道分離の施工例

2) 建築用分野

「建物と屋外施設の保護・保全」をコンセプトに、工場等の塗床材や構造物保護の防水材・屋根材など、生活者に安心で安全な生活・労働環境を創造する製品を提供することで社会に貢献します。



工場床の施工例

3) 工業用分野

無機有機ハイブリッド樹脂により「従来の材料では得られない性能の開発と顧客別のニーズに応える」をコンセプトに様々な分野にハードコート材を提供します。



ハードコート材の展開例

4) 家庭用分野

「快適な住まいと暮らしのお手伝い」をコンセプトに、家庭用塗料やホームケア製品など、生活者のニーズに応え、快適な生活空間を創造する製品を提供することで社会に貢献します。

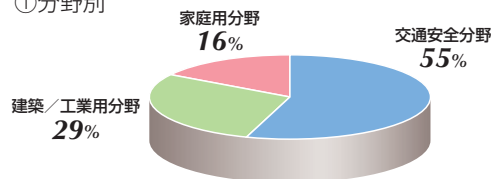


ウッドテラスの塗装例

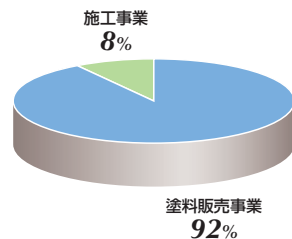


5) 売上構成

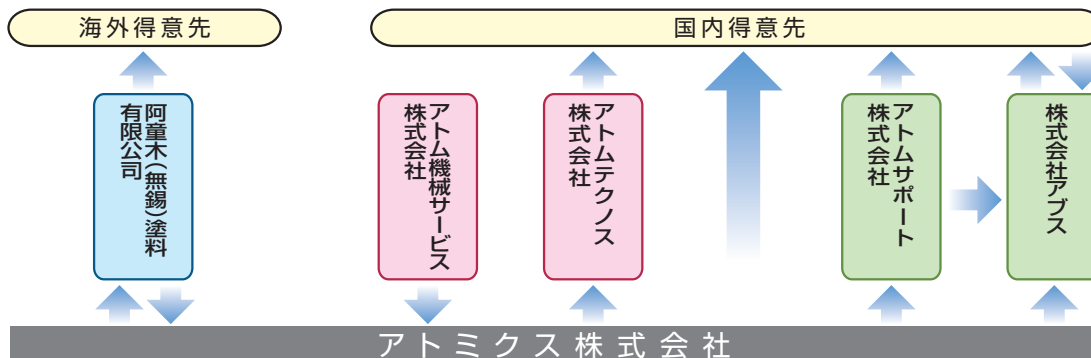
①分野別



②事業別



2. グループ構成



当社グループは、当社及び国内子会社4社と海外子会社1社より構成され、塗料販売事業と施工事業を行っています。

塗料販売事業では、道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材、光触媒製品やハードコート材など機能性コーティング材の製造販売を行っています。このほか、道路用塗料の施工機の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、ホームセンターを顧客とする物流業務を行っています。

また、施工事業では、当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

連結決算報告（要約）

連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,719,148	9,006,428
固定資産	4,798,980	4,750,894
有形固定資産	4,061,877	4,024,385
無形固定資産	151,629	189,408
投資その他の資産	585,472	537,100
資産合計	13,518,129	13,757,322
(負債の部)		
流動負債	3,951,069	4,093,655
固定負債	637,206	517,061
負債合計	4,588,275	4,610,717
(純資産の部)		
株主資本	8,941,920	9,085,324
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,601,695	7,745,100
自己株式	△ 380,175	△ 380,175
その他の包括利益累計額	△ 12,066	61,280
その他有価証券評価差額金	43,996	73,241
為替換算調整勘定	△ 56,062	△ 11,960
純資産合計	8,929,853	9,146,605
負債純資産合計	13,518,129	13,757,322

連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

科 目	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	10,516,035	10,993,527
売上原価	7,367,238	7,681,349
売上総利益	3,148,797	3,312,177
販売費及び一般管理費	2,804,851	2,918,693
営業利益	343,945	393,484
営業外収益	17,825	43,973
営業外費用	17,368	6,329
経常利益	344,402	431,128
特別利益	467	38,541
特別損失	2,045	25,909
税金等調整前当期純利益	342,824	443,759
法人税、住民税及び事業税	155,894	140,466
法人税等調整額	47,570	75,468
少数株主損益調整前当期純利益	139,358	227,825
当期純利益	139,358	227,825
その他の包括利益	7,029	73,347
包括利益	146,388	301,172



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）

（単位：千円）

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,040,000	680,400	7,601,695	△ 380,175	8,941,920	43,996	△ 56,062	△ 12,066	8,929,853
当期変動額									
剰余金の配当			△ 84,420		△ 84,420				△ 84,420
当期純利益			227,825		227,825				227,825
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						29,245	44,102	73,347	73,347
当期変動額合計	—	—	143,404	—	143,404	29,245	44,102	73,347	216,751
当期末残高	1,040,000	680,400	7,745,100	△ 380,175	9,085,324	73,241	△ 11,960	61,280	9,146,605

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科 目	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 231,175	704,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,369	△ 34,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 303,154	△ 266,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,923	14,594
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△ 565,776	417,936
現金及び現金同等物の期首残高	2,762,679	2,196,902
現金及び現金同等物の期末残高	2,196,902	2,614,838

決算報告（要約）

貸借対照表

（単位：千円）

科 目	前 期 (平成24年3月31日現在)	当 期 (平成25年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,833,271	8,097,419
固定資産	4,694,522	4,582,250
有形固定資産	3,677,341	3,640,385
無形固定資産	94,985	126,164
投資その他の資産	922,195	815,700
資産合計	12,527,793	12,679,670
(負債の部)		
流動負債	3,597,803	3,779,726
固定負債	585,588	450,541
負債合計	4,183,391	4,230,267
(純資産の部)		
株主資本	8,301,413	8,375,501
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	6,961,188	7,035,277
自己株式	△ 380,175	△ 380,175
評価・換算差額等	42,989	73,901
その他有価証券評価差額金	42,989	73,901
純資産合計	8,344,402	8,449,402
負債純資産合計	12,527,793	12,679,670

損益計算書

（単位：千円）

科 目	前 期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当 期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	8,912,341	9,540,339
売上原価	6,254,952	6,684,357
売上総利益	2,657,388	2,855,982
販売費及び一般管理費	2,342,482	2,459,111
営業利益	314,905	396,871
営業外収益	43,990	68,185
営業外費用	15,074	6,776
経常利益	343,821	458,279
特別利益	445	48,089
特別損失	1,996	151,574
税引前当期純利益	342,270	354,795
法人税、住民税及び事業税	142,164	122,504
法人税等調整額	30,581	73,781
当期純利益	169,523	158,508



株主資本等変動計算書

当期（自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）

（単位：千円）

	株 主 資 本							評価・換算差額等		純資産 合 計	
	資本金	資 本 剰余金	利益剰余金				自己株式	株主資本 合 計	その他有価証 券評価差額金		評価・換算 差額等合計
		資 本 準備金	利 益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計					
				別途積立金	繰越利益 剰 余 金						
当期首残高	1,040,000	680,400	260,000	6,164,153	537,035	6,961,188	△ 380,175	8,301,413	42,989	42,989	8,344,402
当期変動額											
剰余金の配当					△ 84,420	△ 84,420		△ 84,420			△ 84,420
当期純利益					158,508	158,508		158,508			158,508
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）									30,911	30,911	30,911
当期変動額合計	—	—	—	—	74,088	74,088	—	74,088	30,911	30,911	104,999
当期末残高	1,040,000	680,400	260,000	6,164,153	611,123	7,035,277	△ 380,175	8,375,501	73,901	73,901	8,449,402

株式情報

1. 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 9,440,000株
 株主数 444名
 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	3,178千株	37.64%
アトムクス取引先持株会	1,240	14.68
東京中小企業投資育成株式会社	700	8.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	321	3.80
西川正洋	280	3.32
アトムクス社員持株会	214	2.53
東洋テック株式会社	126	1.49
関原眞理子	109	1.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	106	1.25
西川ルミ子	75	0.89

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は自己株式 (997,940株) を除いて算出しています。

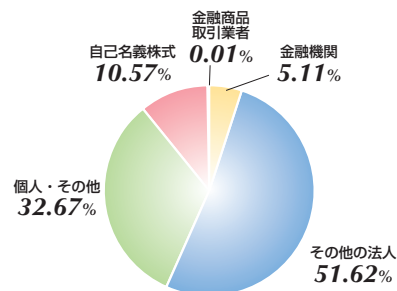
2. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所・特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先・送付先 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 大阪証券取引所
 証券コード 4625
 公告の方法 電子公告
 URL <http://www.atomix.co.jp>
 (ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

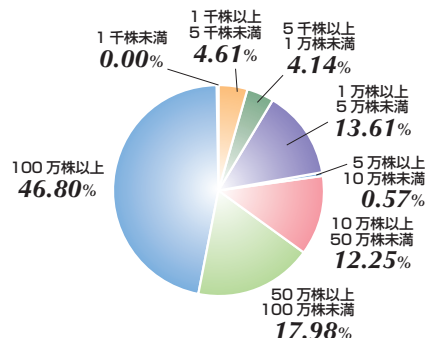
3. 株式分布状況

(平成25年3月31日現在)

(1) 所有者別分布状況



(2) 所有株数別分布状況



※小数点以下第3位を切り捨てているため、合計は100%となりません。

4. お知らせ

(1) 単元株式数の変更

平成25年4月1日より、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。なお、この変更により、株主の皆様に行っていただく手続きはありません。

(2) 公告方法の変更

平成25年6月27日より、公告の方法を電子公告に変更しました。

会社概要

1. 会社概要 (平成25年3月31日現在)

商号 アトミクス株式会社
本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
創業 昭和12年2月
資本金 10億4,000万円
従業員数 224名

2. 主要な事業所及び工場

(平成25年3月31日現在)

本社 東京都板橋区
大阪支店 大阪府大東市
札幌営業所 北海道札幌市
仙台営業所 宮城県仙台市
新潟営業所 新潟県新潟市
横浜営業所 神奈川県横浜市
名古屋営業所 愛知県名古屋市
広島営業所 広島県広島市
福岡営業所 福岡県福岡市
加須工場 埼玉県加須市
久喜工場 埼玉県久喜市
岡山工場 岡山県勝田郡奈義町

3. 役員 (平成25年6月27日現在)

代表取締役社長 小林 和幸
専務取締役 喜多 幸一
(社長室長)
取締役 船橋 輝男
(塗料事業部長)
江森 邦昭
(資材部長)
神保 敏和
(道路事業部長)
村岡 正巳
(海外事業開発室長)
花形 裕透
(道路副事業部長)
常勤監査役 陣内 康司
監査役 上原 左多男
(社外監査役、独立役員)
石川 伸吾
(社外監査役)

4. ご案内

東京駅八重洲北口コンコースにて、デジタルサイネージによる企業広告を行っています。



ATOMIX

<http://www.atomix.co.jp>